【保存版】
No. 14

2018年（平成30年）
1 月15日発行

熊　地　区
防災のお知らせ

熊地区自主防災会
事務局

『 巨大地震は、いつでも、どこでも起きる ！ 』

明けまして
おめでとうございます。

昨年　11月26日（日）3町合同避難訓練、12月17日（日）名古屋市港防災センター研修へ多くの方に参加いただきました。ご協力ありがとうございました。

さて、昨年の9月と12月に、地震に関する大きなニュースが報道されました。

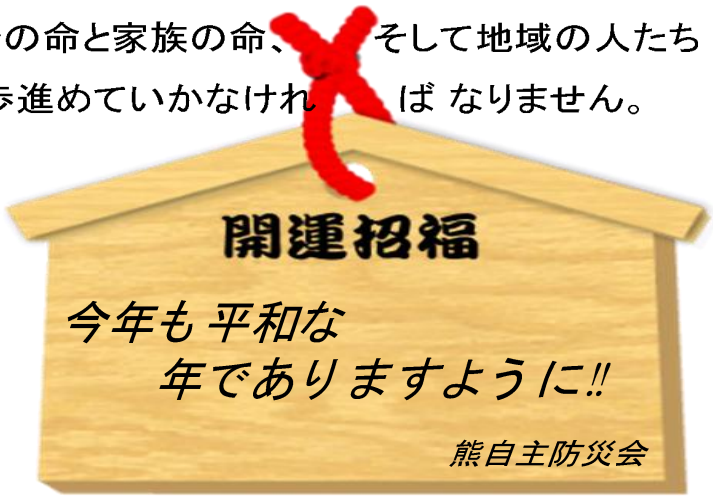
① 『予知 』からの転換 （2017年9月）

国の中央防災会議は9月末、南海ﾄﾗﾌ巨大地震について「確度の**高い予測は困難**」とする報告書をまとめ、予知を前提とした防災対策の方向転換を打ち出した。
東海地震説が浮上してから 41年。「いつか予知はできる」との 見切り発車で進んだ対策が、ようやく現実を踏まえた路線に変わる。

② 北海道沖M9の超巨大地震が発生の恐れ （2017年12月）

政府の地震調査委員会は12月19日、北海道東部沖の太平洋で、大津波を伴うマグニチュード9 級の超巨大地震の発生が「**切迫している可能性が高い**」との予測を公表した。

皆さんは、この記事を読まれて　どう感じられましたか？

私たちの住む地球。私たちの生活を支えてくれている大地。何か異変を起こしているように感じます。　地球の恵みに感謝し、自然を敬うという気持ちが薄らいできているのでしょうか。

万が一に備えて、私たちは自分の命と家族の命、そして地域の人たちの命を守るために準備を一歩一歩進めていかなければ なりません。